

## 『山形県 最上地方さ 行がんなね!』

戸沢村

最上峡芭蕉ライン観光株式会社 船頭 <sup>よこい</sup>横井 ゆき



三度目の発表となるはずでありましたが、この度は書面にて皆様にお伝えさせていただくことになりました、毎度おなじみの芭蕉ライン観光 横井ゆきでございます。数年前には、東京の各省庁へ高規格道を早期に拡張できるようお願い参りのお供をさせていただいたわけですが、なんといつも大変お世話になっている国土交通省にて、私たちの正装・法被姿がドレスコードに引っかかってしまい時間を取らせてしまいまして… 必死でお願いしなくてはと「船頭は予算確保のため一生懸命タバコを吸ってたばこ税を増やして貢献しているのでぜひに!」と訴えてまいりました…今となっては懐かしい思い出です。それから早いもので、令和4年度中には戸沢村古口から東京まで一回も下りずに車で移動できるというではありませんか!

私、たまに舟の上でこんなご案内をしているんです。「最上川に沿って通っている 47 号線に並行しているトンネルの工事現場ですが、ゆくゆくは日本海側の山形県酒田市から、太平洋側の宮城県石巻市まで一本の自動車専用道路が通る予定なんですよ!でもそんな便利な世の中になったらこの舟下りは忘れ去られてしまうのではないかと心配していたのですが…なんとその自動車専用道路が完成するのがあと 40 年後だそうですー!」というと、お客様の笑いがあふれます。しかし、縦の東北中央自動車道がそれほど早く整備されるのであれば、横のみちのくウエストラインも時間の問題となりそうですね。ということで、時間短縮になりわかりやすく便利な高規格道路が、本当にネタの話のように観光地のあだとなってはいけません。そのため、私たちも何か努力をしなくてはと思うのですが、最近では情報発信に力を入れています。

今はテレビよりも SNS の時代です。弊社では、youtube で「芭蕉ラインチャンネル」を不定期であげております。弊社一押しの船頭役者ナンバーワンの 山科亨 が、戸沢村のホットスポット「ポンポ館」で温水ウォータースライダーや、戸沢村の癒しスポット「パーラー白糸の滝」で五重塔バーガーや10のクリームソーダなどに挑戦したりしています。また、東北中央自動車道を利用して置賜地方へ 山科亨 が連れ去られていく設定のものもあります。このように舟下りだけではなく、戸沢村や最上地方、山形県内の観光地や話題の場所をめぐって紹介しています。

また、SNS の情報だけでは SNS を知らないお客様を逃してしまうかもしれないということで、高規格道路を降りたくなるような、目を引く施設などがあれば観光地としてアピールできるのではないかと思います。もちろん山形県の最大の魅力と言っても過言ではない豊かな自然を生かしたものではなりません。例えば、既存の戸沢村道の駅モモカミの里高麗館のような目を引く建物などが高規格道路の近くにあれば、お客様の興味がわくのではないかと思います。

アフターコロナの新しい生活様式の中でも、観光地へいらっしゃるお客様が安心安全にさらに楽しんでいただけるよう、様々な企業努力が必要とされています。「行きたいなー」だけでなく、「行がんなね！」と日本のみならず、世界のお客様に言っていただけるよう、業種や地方の垣根を越えて、地域の皆様と共に協力して高規格道路のようにズンズン販路拡大していければと思います。そして、どんどん長く、便利になっていく高規格道路によってただの通過地点とならないよう、益々努力を重ねてまいりますので皆様今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。